

#REF! 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	医療英語	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	田中 智之	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

英語の長文の読み方について学ぶ。生体の生理学・解剖学に関わる英文について和訳を進め、人体に関する専門領域の英単語を身に付ける。

《成績評価の方法と基準》

「医療従事者のための医学英語入門」を用い、指定箇所の英単語について選択式の問題を毎回小テストとして行い、同様に平常点とし、出席点で20%、期末試験で70%として成績を出す。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

医療従事者のための医学英語入門 講談社

《授業外における学習方法》

毎回の授業で行う単語テスト対策として、指定箇所の英単語については選択肢から選ぶことができる程度の英語理解力を身に付けるため、授業外学習として意識しておく必要がある。

《履修に当たっての留意点》

英語への苦手意識をなくし、高校までの英語基礎力については身に付けておくこと。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	第6章の呼吸器系の背景部分についての英文和訳ができるようになる。	医療従事者のための医学英語入門	高校までの基礎的な英単語や文法について復習しておく。
	各コマにおける授業予定	呼吸器に関する解剖学・生理学についての英文の和訳を進め、肺や縦隔構造の特徴について解説を行う。		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	第6章の呼吸器系の肺胞部分についての英文和訳ができるようになる。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
	各コマにおける授業予定	肺胞に関する解剖学・生理学についての英文の和訳を進め、呼吸の方法や上気道のしづみについて解説を行う。		
第3回 講義形式	授業を通じての到達目標	第4章の循環系の背景・前半部分についての英文和訳ができるようになる。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
	各コマにおける授業予定	循環器系を構成する器官の名称や心臓周りの血管についての特徴や名称を解説する。		
第4回 講義形式	授業を通じての到達目標	第4章の循環系の心臓・前半部分についての英文和訳ができるようになる。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
	各コマにおける授業予定	心臓の内部構造や心膜の働き、心内膜炎について作用機序を解説する。		
第5回 講義形式	授業を通じての到達目標	第8章の泌尿器系の背景・前半部分についての英文和訳ができるようになる。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
	各コマにおける授業予定	尿の働きと生体の恒常性との関わり、腎臓の解剖学的・生理学的な特徴について解説する。		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	第8章の泌尿器系のネフロン・前半部分についての英文和訳をできるようになる。	
	各コマにおける授業予定	ネフロンを構成する糸球体・尿細管の働きや、物質の再吸収について解説する。		医療従事者のための医学英語入門
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	第11章の内分泌系についての英文和訳をできるようになる。	
	各コマにおける授業予定	内分泌腺からホルモンが分泌されるという定義に加えて、内分泌腺の解剖学的知見と同時にホルモンの種類や働きについて解説を行う。		医療従事者のための医学英語入門
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	総合演習を行い、これまでの授業の内容について説明することができるようとする。	
	各コマにおける授業予定	総合演習を行い、これまでの授業の復習と重要ポイントのまとめ、および解説を行う。		医療従事者のための医学英語入門